

サッカー



SOCCER

サッカー競技一貫指導方針

日本代表選手の育成

Jリーガーの育成 ～サンフレッチェ広島に地元選手を～

ジュニア・ユース年代で代表に選手を送ろう。そして国体強化につなげよう。

(少年→成年)

- (注1) 指導指針等は、日本サッカー協会の方針に沿って実施する。
- (注2) 指導者のベクトル合わせは、ライセンス取得講習会やライセンスリフレッシュ講習会等で行う。常に世界大会をターゲットにしてのテクニカルスタディグループのレポートや日本サッカー協会技術委員会からの情報・ナショナルトレセンなどの方向性に沿って強化を推進する。
- (注3) 広島県サッカー協会技術委員会（強化担当者会議）や各年代の技術委員会（同強化担当者会議）の中で、日本サッカー協会の指針に沿い、広島県の競技成績や実態を分析する中で広島県に特化したものはその年度ごとに検討し作成実施する。

強化に関する確認事項

- ① 多数の時間をサッカーに費やす単独チームでの強化が主となる。
- ② よって、指導者の指導力量を上げることが効果的・合理的方法である。
(具体策)指導者ライセンス取得、指導者研修、指導者講習会、指導者全国大会研修、指導者ナショナルトレセン研修、指導者海外研修
- ③ トレセンを強化精選を目的とした分野と育成普及分野でとらえる。指導者の指導実践の研修の場であり強化会議の場となる。
- ④ ジュニア年代では出場を増やし、できるだけあらゆるポジションを経験させる。
- ⑤ ジュニアユース・ユース年代ではリーグ戦によりM-T-M（マッチ・トレーニング・マッチ）による育成強化を行う。
- ⑥ 国体はサッカー競技全体の普及・育成・強化活動の中心に位置付ける。
- ⑦ ジュニア・ユース年代を広島で育成強化された選手が、多数、地元大学・社会人チームで活躍し、国体での活躍を担えるようにする。（小・中一中・高一高・大一高・大・社会人のカテゴリーを越えた交流も推進する。）

区分		強化の方向性	
		男子	女子
キッズ	小学校	スポーツが好きな子供を育成する 保護者の存在を意識する。一緒に遊ぶ	男子に準ずる
U-6		遊びの延長線上 グリーンカードの導入	男子に準ずる
U-7		指導指針に沿って	地区・県・中国トレセン 身体の特性の配慮
U-8			
U-9		指導指針に沿って	
U-10			
U-11			
U-12	地区トレセン 県トレセン ナショナルトレセンU-12 合宿実施 (中国地域で開催) 150人規模 5県で持ち回り8月に開催 全日本少年サッカー大会 ちゅーピー8人制サッカー大会	メンタリティーの配慮 ※指導者の配慮 すべての選手に平等に	
U-13	中学校	地区トレセン 県トレセン 中国トレセンU-13 合宿実施 中国地域独自開催 2月 ナイキプレミアカップ	男女差の配慮
U-14		地区トレセン 県トレセン 中国トレセンU-14 ナショナルトレセンU-14 合宿実施 1月 3月 東西日本2ヶ所開催 西日本:熊本開催	試合時間の配慮 ヘディングの配慮 身体接触の配慮
U-15		地区トレセン 県トレセン 中国トレセンU-15 中体連2回/月 合宿実施 中国地域独自開催 11月 クラブ1回/月 クラブユース全国大会 中3TC3回/月 中体連県選手権 中体連県総体 中体連中学中国選手権大会 全国中学校選手権大会	地区・県・中国トレセン 女子クラブチームの 立ち上げ
U-16	高校	地区トレセン 県トレセン 中国トレセンU-16 ナショナルトレセンU-16 チーム(リーグ戦による育成・強化) 夏 あすなろリーグ 夏・冬 サッカーをする機会を 増やす	地区・県・中国トレセン U-18で実施
U-17		地区トレセン 県トレセン チーム(リーグ戦による育成・強化) アドバンスリーグ 新人リーグ 新人リーグ 中国大会出場決定戦	
U-18		地区トレセン 県トレセン チーム(リーグ戦による育成・強化) 高体連チーム強化(110チーム) クラブチーム(サンフレッチェ広島他) プリンスリーグ クラブユース全国大会 全日本ユース大会 Jユース全国大会 インターハイ 全国選手権大会 中国高校選手権大会 天皇杯広島県予選	全日本女子 県高校総体

特記事項				区分
技術面	戦術面	体力面	その他	
サッカーにこだわらない すべての生活の基礎基本づくり・・・多方面への展開も視野に入れる			遊び 動き	キッズ
ボール遊び 模倣の世界 技術の獲得 GKは全員で ～ボールを意のままに～ ゴールデンエイジ パーフェクトスキル 止める・蹴る・対人下の 技術・1対1・ボール保持 ・ヘディング・タックル	考え方の育成 自分のことは自分です 判断すること	動きづくり さまざまな動きの獲得	コミュニケーション能力の育 成、鬼ごっこ、敏捷性 自分の意見・考え 社会性の育成1	U-6
	個人レベル	俊敏な動き 正確な動き	クラブチームへの所属 たくさんのポジション ゲームを多用 即座の習得	U-7
	個人戦術の理解 ボールを取られない	自分の身体 メディカルの知識	守ること・攻めること	U-8
	2人の関係 優先順位	20分ハーフ	8対8サッカーの推進 大人のハーフコートサイズ 11対11のサッカーへの準備	U-9
				U-10
				U-11
～クリエイティブな選手 の育成～ クラムジー 基礎基本の反復 より正確な技術の獲得	個人戦術完成 グループ戦術 3人の関係	個人差の理解 早熟・晩熟 呼吸循環機能の向上 発育・発達の知識 ゲームをたくさん	優秀選手のクラブチームへ の所属 中体連選手の育成発掘 社会性の育成 メンタリティーの特徴 体格差・身体能力差を配慮 したグルーピング (将来につながる練習)	U-13
	チーム戦術 地域戦術 3ゾーン戦術 スペシャリスト	30分ハーフ 自分の身体	正規コート 中3・9月以降の強化の検討 トレセンは中3も実施 読み 勝敗への姿勢	U-14
			地区トレセンリーグ 地域トレセンリーグの検討	U-15
				U-16
～世界で戦える選手 の育成～ ハイプレッシャー化 スピードアップ 対人下の技術	チーム戦術 大人のサッカー かけひき プレーの優先順位 守備 攻撃	筋力強化 自重利用 ミドルパワー 自分の身体 40～45分ハーフ 試合のかけひき 筋力強化	リーグ戦化 45分化 M-T-M 大人のサッカー かけひき 西日本FES もみじFES 中国サマーユース 平和記念国際ユース	U-17
				U-18